

中央区 chuoku syakyo dayori

社協だより

No. **24**
2015年11月10日



NEW! さわやか涼風会

ボランティアフェア2015

視覚障がい者サポートボランティア講座
(フォローアップ編)

地域別! ボランティアきっかけづくり講座

地域福祉最前線

地区社会福祉協議会活動紹介

上山地区社会福祉協議会

賛助会員企業の地域貢献紹介

新潟県総合生活協同組合

インフォメーション

にいがた元気アップ・サポーター登録説明会のご案内

介護保険のまめ知識

ケアマネジャー(介護支援専門員)って何をする人かご存知ですか?

台風18号豪雨災害支援

ボランティアバス



長嶺サロン「チューリップ」

長嶺サロン「チューリップ」についての
詳細は4ページをご覧ください。

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」

**歳末 たすけあい募金に
ご協力お願いします!**

めやす

1世帯 **300円**

昨年の実績

10,278,516円(中央区)



大島自治会 歳末もちつき大会



美咲町自治会 世代間交流ポーリング大会

歳末たすけあい募金は、地域や福祉施設の交流、高齢者・障がい者等の見守り活動などに活用されています。

New

りょう ふう かい さわやか涼風会

新しくできた皆の居場所【さわやか涼風会】のご紹介です！世話人である若松 進さんにお話を伺いました。

一年をとっても病気になっても自分らしくいたい

そんな思いから、“憩いの場”を作ろうと立ち上がったのが若松さんです。今までの経験を活かし、涼風会では習字を主な活動にしています。今年の4月から始めて約半年が経ちました。メンバーは少しずつ増え、今は11名の方が参加しています。「字を書くことで気持ちが発散できれば」「上手でなくても自分を表現したい」と始めたのですが、皆さんの「もっと上手になりたい!」という気持ちがだんだんと大きくなり、難しい書の写しをする方も出てきました。これには若松さんも「当初の目的とは…」と言葉を濁しつつも、とても嬉しそうな笑顔で話してくださいました。ゆくゆくは会のメンバーで揃ってボランティア活動に出かけたり、練習した習字を活かして宛名書きなんかができたら良いなとのお話にますますこれからが楽しみです。今回の取材を通して、若松さんの笑顔や気さくな人柄から“人のあたたかさ”をたくさん感じました。また、「困ったことがあったら、まず仲間同士で考えてみる」との言葉から、若松さんがその場・その人のことを第一に考えていることが伝わってきました。



『穏やかな日曜日の午後を一緒にすごしませんか？』

特別な道具はいりません、お手持ちの筆と硯などがあれば十分。集まって楽しむことが目的ですから。

見学もお待ちしていますよ!』

【日時】 毎月第2・4日曜日 午後1時～5時

【会場】 新潟市総合福祉会館

【会費】 入会費1,000円(入会時)/年会費500円(毎年4月)

【申し込み・問い合わせ】

世話人 若松 進 TEL: 090-2754-3664

ボランティア・市民活動センター(ボラセン)

予告

ボランティアフェア2015

「ボランティアって何するの…?」と思っている方いませんか？実際に活動しているボランティアがブース出展し、活動紹介やデモンストレーションをします！物品販売も行います。

ぬりえ・工作コーナー、映写コーナーもありますので、お子さんも一緒にどうぞ♪スタンプラリーで景品をゲットしてください！

【日時】 平成27年11月29日(日)
午前10時～午後2時

【会場】 新潟ユニゾンプラザ 1F
屋内イベント広場(中央区上所2-2-2)



報告

視覚障がい者 サポートボランティア講座 フォローアップ編

9月28日(月) @新潟ふれ愛プラザ

今年7月に開催した当講座の修了生4名と昨年度の修了生2名の計6名が参加し、知識・技術の再確認をするフォローアップを行いました。10月4日に新潟ふれ愛プラザで開催された“新潟県視覚障害者 ふれ愛フェスタ”でのサポートボランティアとして活動するので、より実践的な活動ができるよう現地での開催としました。JR亀田駅から同施設までの道のり、施設・トイレ内の誘導やイスへの案内等を実際に体験しました。



地域別! ボランティアきっかけづくり講座

お問い合わせ 中央区社会福祉協議会 210-8720

車いすの使い方や認知症の症状や予防を学ぶことから“ボランティアとは?”を考える内容です。中央区内14カ所で開催中!興味のある方はぜひご参加ください。

上山地区社会福祉協議会

総合生協 新潟県総合生活協同組合

中央区にはより良くきめ細やかな住民の主体的な福祉活動が活性化するように、25の地区社会福祉協議会が組織され、地域の特色や地域性に応じた様々な活動を行っています。その一部を紹介します。

上山地区社会福祉協議会は、平成21年4月よりスタートし、現在は上山校区内の21自治会及び関連構成団体による上山コミュニティ協議会・上山地区民生委員児童委員協議会・上山小学校 PTA によって協働作業を展開しています。



上山地区社会福祉協議会
会長 木村正治さん

平成25年度頃より、宅地開発に伴う入居世帯数の増加により子どもが増え、小・中学校も教室に限られる中、対応への影響も懸念されています。

常に地域が協働の輪となり、安心と信頼・地域包括ケアシステムの構築等に向かって共に学び、研究し、実践による結果を求めて推進を図ってゆきます。

最近の実践では、福祉研修見学会として「住まい・介護・医療・集いの広場」である東区の『なじも』への視察見学を実施しました。この視察では、「一人ぼっちにならない・一人ぼっちをつくらない、ひとりぼっちにさせない」という理念など、多くを学ぶことができました。

さらに本年度は、多世代交流事業（主として祭）で5自治会が、敬老祝会事業で3自治会が、また地区民生委員児童委員協議会による地域の茶の間事業の開催など、地区内においては福祉活動事業を活発に実施しております。（写真は、地域内の様々な福祉活動事業です）

なお、本年度の総括として、「福祉研修会」を地域全体の住民の方を対象に多数の参加を募り、地域包括ケアシステムの構築・地域包括支援センターによる講話など学びの機会を11月29日（日）に、上山中学校において実施する予定です。



新潟県総合生活協同組合（CO-OP）では、「～たすけあう心を大切に～協同の力で心豊かな暮らしと人と地球にやさしい社会を創造します」を理念に、県民の生活や暮らしを支える様々な活動事業を行って来ました。今年の3月に、創立・創業60年を迎えました。

総合生協では宅配事業・夕食宅配事業や共済事業を始めとした組合員同士の助け合い事業を展開しております。

地域貢献の取組みとしては、平成25年より新潟県と地域の見守り活動に関する協定を締結し、県内全域で見守り活動をスタートしています。地域の中で支援が必要と思われる、ひとり暮らしの高齢者や障がい者、子どもの安全などの見守りを日常の宅配事業等を通して行い、異常発見時には専門機関へつなげるというもので、地域の見守りの一翼を担っております。

子育て支援では、KuruCo交流子育て広場を開催し、お母さん・子ども同士の交流やお母さんの息抜き、世代を超えた交流の場としての活動を行っています。また26年度は、食育セミナーとして小学生を対象に県内産食材を使った調理実習を行ったり、食育出前授業として食べることをテーマとした授業を小学校や保育園等で実施しました。

さらに環境活動では、UX21主催の「Team Eco」に協賛し、遊休農地への花の種まきや福島潟の除草作業などを行ったり、リユース瓶商品の利用普及に努めています。



Team Eco



食育セミナー



インフォメーション

にいがたし元気カアップ・サポーター登録説明会のご案内

高齢者施設でのお茶出しや話し相手などのサポート活動を通してご自身の元気カもアップしませんか？

まずは説明会にご参加ください！

対象：市内在住の65歳以上の方

持ち物：筆記用具 時間：10：00～11：30

開催日	会場
11月18日(水)	鳥屋野地区公民館
12月17日(木)	関屋地区公民館

※都合の良い日に一回ご参加ください。

介護保険のまめ知識

ケアマネジャー（介護支援専門員）って何をする人かご存知ですか？

介護保険サービス（例えばデイサービス・ホームヘルパー・福祉用具のレンタルなど）を利用するには、介護認定を受ける必要があります。そして、認定された介護度により、利用できる介護サービスの種類や量が決まります。

介護サービスは、ご利用される方の要望や状態に合わせた「ケアプラン（介護計画書）」に基づいて提供されます。

- ケアマネジャーは・介護に関する相談
・介護認定申請のお手伝い
・ケアプランの作成 など

その方らしい生活がご自宅で送れるよう、一緒に考え、お手伝いさせていただくのが仕事です。



長嶺サロン「チューリップ」

会場：長嶺地域コミュニティ協議会事務所会議室
(東出張所2階)
日時：毎週木曜日 10時～16時 参加費：100円

毎週木曜日、中央区役所東出張所2階への階段を上っていくと、汁物のおいしい匂いと大きな笑い声が、廊下の奥から溢れ出てきます。地域包括ケアシステム、高齢者を地域で支えるモデル事業として昨年度から始まった長嶺サロン「チューリップ」。「お喋りして、笑って、毎週木曜日が楽しみになりました!」「私たちの地域にこういうところできて本当に幸せです。」参加者からはこんな声がたくさん聞かれました。ご興味のある方はぜひ一度足をお運びください。



台風18号豪雨災害支援ボランティアバス



ボランティアバスとは、救援物資や資材を積み込み、支援ボランティアが団体としてまとまって被災地に行くバスのことです。

10月11日(日)新潟市社会福祉協議会が主催するボランティアバスに乗り、台風18号の影響で甚大な被害のあった茨城県常総市へ行ってきました。ボランティアバスの1日をご紹介します。

- Am 3:00 出発式
- Am 3:10 新潟市出発
- Am 9:00 常総市災害ボランティアセンター いしげ 石下サテライト到着・ボランティア受付
- Am 9:30 たま 玉サテライトへ移動・オリエンテーション



活動内容や注意事項の説明がありました

Am 9:45 個人宅へ移動・活動開始



丁寧に泥を
除いていきます

10cm程の泥に覆われていました



Pm 2:30 活動終了・移動・活動報告・着替え



「被災してからしばらく経つと支援の手が少なくなっていた。「忘れられてしまうのでは?」と心が折れそうになったが、今日みなさんのおかげで、また前を向くことができるようになりました。」

家主さんからの言葉

Pm 4:00 常総市出発

Pm10:00 新潟市到着・解散式・解散

たように思います。また、傷んでしまった床板には乾いた泥が微かに残り、パッと見たら片付いているように見える家も細かなところはまだまだ片付けが必要なのだと感じました。今回は主に庭の泥あげを行いました。30人という大人数でしたので3時間ほどでキレイに片付けることができました。

新潟市社協の運営費の一部は、新潟市からの補助金を受けています

編集・発行

中央区社会福祉協議会

CHUO WARD SOCIAL WELFARE COUNCIL

〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町909番地 Co-C.G. (コシジ) 3階
Co-C.G. Building 3F, 909 Nishiborimaedori6bancho, Chuo-ku, Niigata City, Niigata 951-8062, Japan
E-mail chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

TEL 025-210-8720 FAX 025-210-8722

